

平成 23 年度(4-6 月期) 財団法人水戸市国際交流協会事業報告書

1 事業の概要

概 況

当協会は、今般の公益法人制度改革に伴い、公益財団法人への移行に向けた取り組みをこれまで進めてきましたが、この度、茨城県からの認定を得て、平成 23 年 7 月 1 日をもって新法人に移行し、「公益財団法人水戸市国際交流協会」としてスタートを切ることになりました。

この移行に伴い、平成 23 年度は、事業年度が二期に分かれ、平成 23 年 4 月 1 日から 6 月 30 日までの 3 か月が旧法人（特例民法法人）としての事業年度、平成 23 年 7 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 9 か月が移行後の新法人（公益財団法人）としての事業年度となりました。本報告は、旧法人（特例民法法人）における事業報告となります。

3 月に発生した東日本大震災の影響により、国際交流センターを臨時休館としたことなどから、当期における事業活動は、7 月以降のセンター施設再開や国際交流事業実施に向けた準備が中心となりました。

また、公益法人制度改革への対応についても、県からのヒアリングを経て、6 月 21 日付で移行認定を受けたことを踏まえ、7 月 1 日からの公益財団法人への円滑な移行に向けた準備に取り組みました。

当期は 3 か月という短期間ではありましたが、東日本大震災という未曾有の災害の影響への対処、さらには公益法人制度改革に伴う新法人への移行という課題に直面するなか、それらに積極的に対応し、7 月 1 日からのセンター再開及び公益財団法人移行後の事業活動、組織運営に向けた基盤づくりにつなげる期間とすることができました。

(1) 海外諸都市との国際交流事業

市民間の交流、相互理解、友好親善を目的に、国際親善姉妹都市アナハイム市との交流をさらに深めました。

ア 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流

アナハイム市からの特使が、東日本大震災の被害を受けた水戸市を見舞うとともに、アナハイム市で行われた「励ましの手紙を送るキャンペーン」により水戸市に寄せられた手紙などを渡すため来水したため、その受入を行うとともに、届けられた手紙を通じた交流の促進に取り組んだ。

(ア) アナハイム市からの特使の受入

期 間：平成 23 年 4 月 29 日(金)～30 日(土) 2 日間

特 使：サンドラ・A・デイ氏（アナハイム市姉妹都市委員会委員）

内 容：水戸市災害対策本部（水戸市長，教育長）表敬訪問及びアナハイム市民からの手紙等の贈呈，市内被害状況の視察（市役所など駅南周辺地区，東照宮，偕楽園，国際交流センター等）

（イ）アナハイム市からの手紙を通じた交流の促進

内 容：両市の児童生徒による手紙を通じた交流につなげるため，市教育委員会等と連携しながら，アナハイム市から届いた手紙を希望する市内の学校（幼稚園，小中学校，高校）へ配布した。（配布を受けた学校では児童・生徒等が返信を作成）

送られてきた手紙数：3,275 通

配布学校：市内学校 46 校（幼稚園 12 校，小学校 21 校，中学校 11 校，高校 2 校）

（2）市内在住の外国人に対する支援

市内在住外国人や留学生に対する支援事業を実施しました。

ア 外国人のための生活情報紙（Culture Pot MITO）の発行

水戸市に住む外国人に対して，生活に役立つ情報をわかりやすく届けるとともに，水戸市への理解を深めてもらうことを目的として，月刊の生活情報紙を発行した。

発行言語：英語版・ルビ付日本語版

号	内 容
2011 年 6 月号 (創刊号)	・住民税，自動車税，子ども手当などの生活情報 ・ハローワーク，労働局などの仕事に関する窓口情報 等

イ 子どものための日本語ボランティア学校派遣

水戸市教育委員会と連携しながら，日本語指導を要する在住外国人の子どもを対象に，ボランティアが市立小・中学校へ出向き，日本語を指導した。

・ 日本語ボランティア学校派遣

対象児童・生徒数：7 人

ボランティア数：4 人

派遣学校：五軒小学校，千波小学校，第一中学校，第二中学校，見川中学校，
双葉台中学校，千波中学校

派遣回数：103 回

ウ 相談窓口の常設

国籍等を問わず，生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し，アドバイスや情報を提供した（電話対応）。

内 容：日本語学習，ボランティア活動，就職など

相談者数：25 人(うち外国人 14 人)

相談件数：25 件(電話相談 15 件，来館相談 10 件)

(3) 国際交流に関する情報・資料の収集及び提供

外国や日本の文化，国際交流等に関する図書，資料等を広く集め，市民や外国人に提供し，また機関紙及びホームページなどにより，情報の発信に努めました。

ア 協会機関紙等による情報発信

(ア) 協会機関紙の発行

日本語版：1 回発行(5 月：2,000 部作成)

市内公共施設，姉妹都市関係者及び寄付者などを中心に送付

5 月(39 号)	平成 23 年度(通年)の事業計画
-----------	-------------------

3 か国語版(英語・中国語・ハングル)：1 回発行(5 月：1,000 部作成)

市内在住外国人等に配布

5 月(9 号)	平成 23 年度(通年)の事業計画
----------	-------------------

イ ホームページによる情報提供

ホームページによる協会の最新情報，事業内容，運営情報等の提供

訪問者数：3,446 件

タイトル	内容
「世界教室」	水戸出身の若者が世界各地をめぐるながら，各国の人々の暮らしぶり，世界で発見したことや感じたことを現地からのレポートや写真等を通して伝えた。
「日本発見記」	在住外国人へのインタビューを行い，外国人の視点から水戸や日本での生活を通し，発見したこと感じたことなどを聞いた。 震災後は，「東日本大震災後の外国人に聞く」とのテーマのもと，今回の震災体験を通じて感じたことなどを聞いた。

(4) 水戸市国際交流センターの管理及び運営の受託

水戸市から国際交流センターの管理及び運営を委託され，その管理運営に努めました。平成 23 年 4 月～6 月期については，平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により，施設に損傷を受けたことの影響により臨時休館としましたが，7 月 1 日から

の施設再開に向けて必要な準備などに取り組みました。

ア センターの管理及び運営

(ア) センターの利用状況

平成23年4月～6月期については臨時休館としたため、利用はなかった。

(イ) センターの管理運営

3月の地震発生以降、利用者の安全が確保できるまでの機関を臨時休館とし、休館期間中は、施設の修繕等、施設再開に向けて必要な準備に取り組んだ。また、7月からの施設再開に先立ち、6月10日より電話にて利用受付を行った。

(5) その他

ア 新公益法人への移行関連業務

平成22年11月に茨城県に対して行った公益認定申請について、県による当該申請内容に係るヒアリングや資料提出依頼等に対応した。それらを経て、平成23年6月21日付で県から公益認定を受けたことを踏まえ、7月1日からの公益財団法人への円滑な移行に向けて、登記関係書類の準備などの必要な事務を行った。

平成 23 年度(7-3 月期) 公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告書

1 事業の概要

概 況

当協会は、水戸市国際交流センターを拠点とし、国際交流の中核組織として他の国際交流団体等と連携を図りながら、地域における国際交流活動を推進することを目的として平成 7 年 3 月に設立され、多様化する国際交流に対応するための様々な事業を展開してまいりました。

そうしたなか、本年度は、今般の公益法人制度改革に伴い、公益財団法人への移行に向けて取り組んだ結果、茨城県からの認定を受け、平成 23 年 7 月 1 日より公益財団法人としての新たな一歩を踏み出しました。

この移行に伴い、平成 23 年度は、事業年度が二期に分かれ、本報告は「公益財団法人水戸市国際交流協会」として、移行後、初の事業年度(平成 23 年 7 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 9 か月)の事業報告となります。

公益財団法人初年度にあたる平成 23 年度 7 月-3 月期は、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の影響により、一部の事業については中止を余儀なくされたため見直しを図りましたが、概ね旧法人の平成 23 年度事業計画を引き継ぎ、公益法人にふさわしい事業の展開と組織運営に努めてまいりました。具体的には、海外諸都市との国際交流事業のほか、震災後の外国人相談窓口への対応や情報の提供など外国人市民への支援に重点を置くとともに、市民と外国人との交流の場の創出や多文化共生を中心とした事業の展開に努めてまいりました。

(1) 海外諸都市との国際交流事業

市民間の交流、相互理解、友好親善を目的に、国際親善姉妹都市アナハイム市との交流をさらに深めました。

ア 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流

(ア) ガンバレ!MITO!~アナハイムからの応援メッセージ展~

内 容：東日本大震災の被害を受けた水戸市のために、アナハイム市では、過去に水戸市を訪れた学生親善大使が中心となりアナハイム市民に呼び掛け、水戸市民に励ましの手紙を送るキャンペーンを実施した。これらの手紙を展示することにより、市民が姉妹都市交流を身近に感じ、同時にアナハイム市との絆をより深めてもらうとともに、届けられた手紙を通じた交流の促進に取り組んだ。

期 間：平成 23 年 7 月 1 日(金)~10 月 30 日(日)

展 示 数：905 通

来場者数：1,740人（うち外国人306人）

水戸市からの返信数：2,150通

(イ) 水戸市学生親善大使の派遣（中止）

平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、派遣を中止とした。

(ウ) アナハイム市学生親善大使の受入（中止）

平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、受入れを中止とした。

(エ) アナハイム市との教育交流事業

アナハイム市から英語指導助手の受入（採用）に向けて、水戸市教育委員会と連携しながら、アナハイム市関係機関と各種調整、協議を行った。

採用者数：4人

採用時期：平成23年4月1日

イ 友好交流都市重慶市との交流

(ア) 第6回重慶市親善訪問団の派遣

期 間：平成23年10月28日（金）～11月3日（木） 7日間

派 遣 先：重慶市、九寨溝・黄龍、成都市

内 容：重慶市表敬訪問、重慶師範大学視察、重慶経済開発区展示館視察、重慶市賃貸住宅管理局視察、成都市内施設等の視察・見学、九寨溝・黄龍視察、報告書発行

派遣人員：団 長 高橋 靖（市長）

副団長 渡辺 政明（市議会議長）

団 員 市民 男性4人 女性3人

市議会議員 男性6人（副団長含む）

市関係者 男性2人（団長含む）

協会職員 男性1人 女性1人

計 17人（男性13人、女性4人）

結 団 式：平成23年10月14日（金）

解 団 式：平成23年11月11日（金）

(イ) 重慶市代表団の受入

期 間：平成24年1月31日（火）

内 容：市役所表敬訪問、水戸商工会議所表敬訪問、市内視察（水戸市国際交流センター、小吹清掃工場、植物公園）

団 員：朱 晞顔（重慶市人民政府外事僑務弁公室主任）ほか3人

(ウ) 重慶市への図書寄贈

重慶市親善訪問団が重慶市を訪問した際、重慶師範大学内にある日本語の書籍の数

が少ない現状を知り、日本語・日本文化を学ぶ多くの学生に役立つ書籍類を寄贈できないかとの意見があったことから、同大学と調整を図り、水戸市立中央図書館で所蔵する図書を寄贈した。

寄贈先：重慶師範大学

寄贈冊数：101冊

(2) 市民の国際交流活動に対する支援

国際交流ボランティア団体等の活動が円滑に行えるように支援するとともに、市民に対し、団体等の交流活動の紹介や講演会などを通して、国際理解を深める啓発事業を行う計画でしたが、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による団体の活動休止などを受け、事業が中止となりました。団体等と調整を図り、平成24年度に事業を再開してまいります。

ア 国際交流のつどいの開催（中止）

市民及び外国人市民との交流の場を提供するとともに、市民の国際理解の推進を図ることを目的として事業を行う計画であったが、震災の影響により地域団体との調整が図れず、事業を中止とした。

イ 国際交流団体連絡会議（中止）

例年、ボランティア団体間の情報交換やセンター利用などをテーマとして、水戸市国際交流センターを拠点として国際交流活動をしているボランティア団体の連絡会議を開催していたが、今年度は団体ごとに意見・要望等を把握し、そのつど個別に対応した。

ウ 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援：MIJネットワーク支援

例年、研修会などを通して、水戸市国際交流センターを拠点として外国人に日本語を指導しているボランティア団体のネットワーク組織である「水戸市国際交流センターボランティア日本語教室ネットワーク(通称：MIJ ネットワーク)」の活動を支援してきたが、震災の影響による活動休止を受け、研修会を中止とした。

また、団体ごとに意見・要望等を把握し、そのつど個別に対応したほか、日本語指導に必要となる教材等の支援を行った。

(3) 国際交流に関する講演・講座・研修等の実施

市民に国際交流及び世界の文化などについて理解を深めてもらうため、各種講座を実施するとともに、国際交流パーティーを開催し、市民と外国人との交流の場の創出に努めました。また、市内小学校や地域団体に国際理解を促すため、外国人を講師として派遣しました。

ア 国際理解講座の開催

世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深めるため、関係団体の協力を得て国際理解講座を開催した。

(ア) 世界の料理講座～つくってみよう世界の料理～

外国人市民を講師として招き、世界の様々な国や地域の料理を通して、それぞれの国の文化や習慣を学んだ。

① ブラジル編

期 日：平成23年9月17日(土)

対 象：一般

内 容：ポン・ジ・ケイジョ(チーズパン)、ブラジル風チキンカツ、じゃがいものスープ、マンゴームースといったブラジル家庭料理の実習及び文化の紹介

講 師：渡引 和美(ブラジルサンパウロ出身)

受講者数：18人

② ギリシャ編

期 日：平成23年11月19日(土)

対 象：一般

内 容：ムサカ、たまごとレモンのスープ、ギリシャサラダ、ギリシャヨーグルトといったギリシャ家庭料理の実習及び文化の紹介

講 師：フラギス・アサナシオス(ギリシャ食品・ワイン輸入業)

受講者数：18人

③ セルビア編

期 日：平成24年2月18日(土)

対 象：一般

内 容：サルマ(セルビア風ロールキャベツ)、プロヤ(コーンブレッド)、セルビア風サラダ

講 師：イエレナ・イエレミッチ(英会話講師、料理講師)

受講者数：19人

(イ) 簡単語学講座～はじめのいっぽ～

毎回異なった国の言葉を取り上げ、外国人市民を講師として招き、簡単な日常会話やあいさつを学びながら、その言葉の由来や意味などから、背景にある文化や生活、習慣などを知る講座を開催した。

① スペイン語編

期 日：平成23年9月24日(土)

対 象：一般